

事業カルテ (元年度決算)

教育振興課

10-05-01-638

文化財保護事業

◇事業の位置づけ等

| | | | | | | |
|---------------------------|--|-----------------------|-------------------------|---|---|---|
| 事務の種類 | 自治事務 | 基礎となる法令 | 文化財保護法、地方自治法、多摩市文化財保護条例 | | | |
| 第五次総合計画 基本計画体系 | 目指すまちの姿 | みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち | | | | |
| | 政策 | C2 | 豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり | | | |
| | 施策 | 3 | 文化の継承と創造 | | | |
| | 関連する施策 | - | - | - | - | - |
| 関連する個別計画 | 第二次多摩市教育振興プラン | | | | | |
| 関連する報告書など | 多摩市の教育 | | | | | |
| 事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など | 多摩ニュータウン開発の開始以降、特に、市制施行以来、失われていく文化財が増加したため、文化財の保護、保存に一層努めている。現在は、旧西落合中学校跡地を文化財資料室として、展示、貸出等を実施している。事業としては、学校教育の社会科・総合的な学習や市民の郷土・地域学習に有効に活用してきた。また、平成18年度には、多摩第三小学校の郷土資料室の見学等の窓口を文化財係へ一本化し、文化財担当で説明対応等を行い、学校教育との連携を図り、生徒の身近な郷土学習の場の整備、充実を図った。 | | | | | |

◇令和元年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

| | |
|--------------------|--|
| 事業の目的、 令和元年度の目標 | 市内の文化財を後世に伝え、郷土への理解や愛着の念を深めるため、文化財の保護、活用、普及等を目的として事業を継続している。市民ニーズに応えた事業等を東京都埋蔵文化財センター、公民館等と連携し、共同事業を継続実施する。また、旧西落合中学校跡地の文化財資料室や多摩第三小学校郷土資料室における資料展示、資料貸出等に関しては、見学対応等を行い、学校教育等と連携して文化財普及に努める。 旧北貝取小跡地整備事業は、基本方針を策定し、それに沿って事業を進めていく。また、資料の現状再確認、再整理(処分)資料の抽出等を継続実施する。さらに、パルテノン多摩収蔵庫内等の文化財資料の移動を行い整理をする。 |
| 予算の執行方法 | 文化財等記録撮影業務委託料、文化財関係刊行物印刷関係、文化財資料類の調査関係、文化財の活用・保存公開関係、文化財施設関係、パルテノン多摩収蔵庫内等の資料運搬委託等の支出。 |
| 事業の成果 | 市民ニーズに応えた講座・展示会等の実施、文化財ボランティアによる文化財資料集刊行、調査等を通じて、文化財に対する理解を深め、市民の郷土意識の高揚と市への愛着の念を育んだ。また、学校の文化財施設見学対応や、学校での出前授業・展示等、学校教育との連携を行った。旧北貝取小跡地整備事業については、全体計画や施設概要等を進めるとともに、民俗・生活資料類の再整理を行い、処分資料の具体的選別等を行った。 |

◇事業にかかる費用

| 区 分 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | |
|------------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|
| 決算額(単位:千円) | 5,618千円 | 5,791千円 | 11,059千円 | 7,632千円 | 11,080千円 | |
| 事業にかかる実コスト | 19,746千円 | 20,136千円 | 25,390千円 | 21,105千円 | 24,623千円 | |
| 内 訳 | 直接経費 | | | | | |
| | 国庫支出金 | 139千円 | 48千円 | 37千円 | 25千円 | 90千円 |
| | 都支出金 | 20千円 | 0千円 | 348千円 | 737千円 | 834千円 |
| | 地方債 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 |
| | その他特定財源 | 3千円 | 3千円 | 1千円 | 0千円 | 311千円 |
| | 一般財源 | 5,456千円 | 5,740千円 | 10,673千円 | 6,870千円 | 9,845千円 |
| 間接経費 | | | | | | |
| 職員人件費 | 11,239千円 | 11,104千円 | 10,576千円 | 10,081千円 | 10,299千円 | |
| 《従事人員数》 | 1.20人 | 1.20人 | 1.20人 | 1.20人 | 1.20人 | |
| その他の人件費 | 2,889千円 | 3,241千円 | 3,755千円 | 3,392千円 | 3,244千円 | |

◇成果指標

| 指標の種類 | 指標について | | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|------------------|---------------------|----|--------|--------|--------|
| 活動指標 (アウトプット) | 施設公開・見学、展示会・講座等事業回数 | 目標 | 17回 | 20回 | 20回 |
| | | 結果 | 25回 | 27回 | — |
| 成果指標 (アウトカム) | 事業・施設来場者数 | 目標 | 5,000人 | 5,500人 | 5,500人 |
| | | 結果 | 5,683人 | 6,635人 | — |

特記事項

—

◇自己点検

| の 成 果 指 標 の 推 移 | 今後の見通し | | 方 今 向 後 性 の イ | 今後の課題や方向性に関するコメント |
|--------------------------------------|------------------|------------------|---------------------------------|--|
| | ニ 量 的 的 | 財 一 源 般 | | |
| B | B | B | イ | 旧北貝取小学校跡地整備事業については、今年度は、パルテノン多摩収蔵庫内での移動及び、一部資料を旧豊ヶ丘中学校に移動した。他施設に収蔵している文化財資料類の旧北貝取小学校跡地への移転、収蔵を前提にした、民俗・生活、埋蔵文化財(考古)資料類の再整理、再収納等の作業、記録化の再整理を進めていく。特に、埋蔵文化財資料に関しては、国庫補助金を活用して継続実施していく。 |

<文化財保護事業>

◇執行状況及び成果等

1 実施事業等概要

(1) 文化財映画・記録撮影 (令和元年度事業経費：1,010,224円)

多摩ニュータウンの開発や急激な都市化の流れにより、変貌し消えつつある多摩市の姿や暮らし等を映像にとどめ、後世に伝えるため記録撮影を実施した。現在では、この映像記録自体が貴重な文化財資料となっている。令和元年度は、「古老の描いた多摩の原風景～貝取・落合を中心として～」展示風景、旧多摩聖蹟記念館「クラシックコンサート」、シダレザクラ施肥状況、シダレザクラ・川井家土蔵・主屋撮影、平久保のシイ保存措置状況、関戸橋架け替え状況、市内各所の定点撮影等の記録撮影の記録撮影を行った。

(2) 文化財展示会・普及関係 (令和元年度事業経費：739,153円)

ア. 東京文化財ウィーク関連事業

地域における文化財保護事業の推進と普及、地域との連携等を図るため、東京都全域で行われる「東京文化財ウィーク2019」事業(東京都教育委員会主催)の一環として企画事業3件(うち1件は旧多摩聖蹟記念館事業)、公開事業4件を実施。

| | No | 事業名・展示会名(場所) | 期 間 | 来場人数 |
|------|----|---|-----------------------------|--------|
| 企画事業 | 1 | 特別展「旧富澤家資料に見る幕末から明治」(旧富澤家) | 令和元年10月26日(土) ～11月24日(日) | 3,188人 |
| | 2 | 「文化財めぐり～多摩市と周辺の文化財探訪～」(日野市等)(多摩市教育委員会・東京都埋蔵文化財センター共同事業) | 令和元年11月1日(金) | 20人 |
| 公開事業 | 1 | 都指定有形文化財(彫刻)・木造隨身倚像(小野神社) | 令和元年11月10日(日) | 149人 |
| | 2 | 都指定史跡・稲荷塚古墳(恋路稲荷神社) | 令和元年10月1日(火) ～11月30日(土) | 92人 |
| | 3 | 都指定史跡・霞ノ関南木戸柵跡(熊野神社) | 令和元年10月1日(火) ～11月30日(土) | 86人 |
| | 4 | 都指定天然記念物・平久保のシイ(平久保公園) | 令和元年10月1日(火) ～11月30日(土) | 146人 |

イ. 共同事業等

東京都埋蔵文化財センター、関戸公民館、公益財団法人多摩市文化振興財団との共同事業を実施。

| No | 事業名・展示会名(場所) | 期 間 | 参加人数 |
|----|--|----------------------------------|--------|
| 1 | 「発掘された日本列島2019展」見学会(多摩市教育委員会・東京都埋蔵文化財センター共同事業) | 令和元年7月10日(水) | 13人 |
| 2 | 郷土史講座「わがまち多摩・今昔物語」シリーズ1(多摩市教育委員会教育振興課・関戸公民館共同事業) | 令和元年10月16日(水) 10月23日(水) | 37人 |
| 3 | 「文化財講演会—多摩地域の考古学の動向—近年の遺跡調査成果を中心に—」(多摩市教育委員会・東京都埋蔵文化財センター共同事業) | 令和2年2月5日(水) 2月12日(水)、2月22日(土) | 234人 |
| 4 | 「古老の描いた多摩の原風景～貝取・落合を中心として～」(公益財団法人多摩市文化振興財団共同事業) | 令和元年8月15日(木)～31日(土) 【13日間】 | 1,798人 |

ウ. 文化財関係発行物普及

多摩市の文化財の周知、普及を目的に、多摩地区の教育委員会等が発行している郷土誌関係出版物を展示、頒布する「多摩郷土誌フェア」に参加し、多摩市史等の文化財書籍を展示、頒布した。

■多摩郷土誌フェア実施状況

| 開催期間 | 売上冊数 | 売上額 | 参加市町 |
|-----------------------|------|---------|------|
| 令和2年1月18日(土)～1月19日(日) | 48冊 | 19,000円 | 25 |

(3) 文化財調査関係 (令和元年度事業経費：65,494円)

文化財資料として保存、展示、活用等に供するため、例年実施している収蔵民俗・生活資料調査、考古資料等の調査・整理、108点の寄贈資料類の受け入れ、整理、台帳整備等を実施した。また、旧市史編さん事業関係の近世・近代等の資料類に関して、保存と共に、今後、広く市民に公開、活用できるように調査、資料整理を実施した。

(4) 文化財の活用、保存公開関係 (令和元年度事業経費：4,185,271円)

ア. 文化財資料活用

学校教育との連携を図り、社会科・総合的な学習等での活用を目的として、カリキュラムに合わせた文化財資料(考古、歴史、民俗資料等)の貸出リストを各校に配付し、貸出事業を実施すると共に、文化財資料室(旧西落合中学校跡地内)において学校授業時等の展示見学、解説、資料貸出を行った(機関・他自治体等への貸出分は含まず)。

■文化財資料貸出状況

| 年度 | 27 | 28 | 29 | 30 | 元 |
|----|----|----|----|-----|----|
| 件数 | 13 | 6 | 6 | 6 | 3 |
| 点数 | 65 | 49 | 43 | 107 | 17 |

イ. 指定文化財の保存・公開

貴重な市指定文化財を後世に伝え保護すると同時に、市民に広く周知、公開するため、天然記念物をはじめとした市指定文化財の保護保存、管理公開を実施した。また、東京都文化財保存事業費において、都指定天然記念物の保護・保存措置を実施した。

■都指定文化財の保存事業

| | |
|------|---|
| 名称 | 東京都指定天然記念物 平久保のシイ |
| 事業内容 | 本樹スダジイを支える2本の木材支柱の撤去及び3本の支柱新設を実施。また、マテバシイ等の周囲の樹木(常緑樹・落葉樹)の剪定・伐採を実施。 |

■市指定文化財

| 種別 | 有形文化財 | 有形民俗文化財 | 天然記念物 |
|----|----------|---------------|---------------|
| 件数 | 関戸文書他・4件 | 阿弥陀三尊来迎板碑他・8件 | ケヤキ(春日神社)他・6件 |

(5) 文化財施設関係等 (令和元年度事業経費：5,079,437円)

学校教育との連携の基に、旧西落合中学校跡地内文化財資料室と、多摩第三小学校郷土資料室に民俗・生活資料類等を展示し、学校の団体見学受付、解説、体験学習対応等を行った。

■文化財資料室・文化財整理室・多摩第三小学校郷土資料室見学者数〔()内多摩第三小見学者数〕

| 年度 | 27 | 28 | 29 | 30 | 元 |
|---------|---------|----------|----------|---------|----------|
| 見学者数(人) | 593(74) | 790(217) | 964(199) | 623(63) | 872(320) |

2 事業経費関係

(円)

| 年度 | 経費合計 | 経費内訳 | | |
|----|------------|-----------|---------|-------------------------------|
| | | 報償費・需用費 | 役員費 | 委託費、使用料及び 賃借料、負担金、公 課費等 |
| 27 | 5,618,103 | 3,976,726 | 114,070 | 1,527,307 |
| 28 | 5,790,463 | 3,851,355 | 142,876 | 1,796,232 |
| 29 | 11,059,406 | 3,856,114 | 112,472 | 7,090,820 |
| 30 | 7,631,535 | 4,087,659 | 130,699 | 3,413,177 |
| 元 | 11,079,579 | 3,364,435 | 138,618 | 7,576,526 |

事業カルテ (元年度決算)

教育振興課

10-05-01-639

埋蔵文化財発掘調査事業

◇事業の位置づけ等

| | | | |
|---------------------------|---|-----------------------|------------------------|
| 事務の種類 | 自治事務 | 基礎となる法令 | 文化財保護法 |
| 第五次総合計画 基本計画体系 | 目指すまちの姿 | みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち | |
| | 政策 | C2 | 豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり |
| | 施策 | 3 | 文化の継承と創造 |
| | 関連する施策 | - | - |
| 関連する個別計画 | 第二次多摩市教育振興プラン | | |
| 関連する報告書など | 多摩市の教育 | | |
| 事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など | 昭和52年度、市道整備をきっかけとした公共事業に伴う発掘調査が必要となったため事業を開始し、平成8年度には市職員が直接発掘調査に従事する体制から、民間調査組織を導入し試掘調査、本調査等を実施し、調査を指導助言する体制に改めた。また、開発、工事等に対する埋蔵文化財の調整・協議件数が年々増加してきたため、その対応の充実に図った。 | | |

◇令和元年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

| | |
|--------------------|--|
| 事業の目的、 令和元年度の目標 | 開発等に伴い消失してしまう、市内の埋蔵文化財の保護・保存を図り、記録化等により後世に伝えるとともに、地域の歴史資料として供することを目的とする。法的根拠としては、文化財保護法第93条第1項及び「埋蔵文化財の事務処理の迅速化について」(昭和56年2月7日付庁保記第11号)、「埋蔵文化財の保護と発掘調査の円滑化等について」(平成10年9月29日付庁保記第75号)による各都道府県教育委員会の指導に基づき行われる。 開発等に伴う埋蔵文化財の記録保存等を図り、後世に伝えるとともに、地域の歴史資料として供する。令和元年度は、民間の各種開発、個人住宅建築等に伴う試掘・確認調査及び本調査を9箇所程度予定。公共事業としては市道の試掘調査を実施し、埋蔵文化財の有無、状況等を確認するとともに、記録保存を図る。また、平成27年度より申請した地域の特色ある埋蔵文化財活用事業国庫補助金を本年度も申請し、今まで出土した埋蔵文化財を市民へ公開活用するための再整理、展示活用等を継続的に実施していく。 |
| 予算の執行方法 | 消耗品費、発掘調査作業業務委託料、地域の特色ある埋蔵文化財活用事業国庫補助金等の支出 |
| 事業の成果 | 発掘調査により開発等で消失してしまう遺跡(埋蔵文化財)の記録保存が図られ、文献資料等では明らかに出来ない多摩市の歴史や文化を正しく知るための手掛かりが得られた。国庫補助金を活用し、旧北貝取小学校跡地施設に収蔵するため、埋蔵文化財資料類の再分類・再整理等を実施した。また、ソフト事業として展示会、出前展示・授業等を実施し、埋蔵文化財の普及、啓発を図った。 |

◇事業にかかる費用

| 区 分 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | |
|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 決算額(単位:千円) | 27,591 千円 | 10,444 千円 | 7,520 千円 | 8,217 千円 | 10,373 千円 | |
| 事業にかかる実コスト | 36,957 千円 | 19,697 千円 | 16,333 千円 | 16,618 千円 | 18,955 千円 | |
| 内 訳 | 直接経費 | | | | | |
| | 国庫支出金 | 2,992 千円 | 3,952 千円 | 3,029 千円 | 3,725 千円 | 4,660 千円 |
| | 都支出金 | 1,075 千円 | 1,250 千円 | 922 千円 | 875 千円 | 1,125 千円 |
| | 地方債 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| | その他特定財源 | 0 千円 | 666 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| | 一般財源 | 23,524 千円 | 4,576 千円 | 3,569 千円 | 3,617 千円 | 4,588 千円 |
| 間接経費 | | | | | | |
| 職員人件費 | 9,366 千円 | 9,253 千円 | 8,813 千円 | 8,401 千円 | 8,582 千円 | |
| 《従事人員数》 | 1.00 人 | 1.00 人 | 1.00 人 | 1.00 人 | 1.00 人 | |
| その他の人件費 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | |

◇成果指標

| 指標の種類 | 指標について | | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|------------------|--|----|--------|-------|-------|
| 活動指標 (アウトプット) | 市内の埋蔵文化財包蔵地を対象として、開発・工事等に対する事前協議、埋蔵文化財発掘等に対する対応、試掘・確認調査及び発掘調査等を実施する。 | 目標 | 100件 | 100件 | 100件 |
| | | 結果 | 140件 | 139件 | — |
| 成果指標 (アウトカム) | — | 目標 | — | — | — |
| | | 結果 | — | — | — |

特記事項

—

◇自己点検

| | | | | |
|----------------------------|-----------------------|----------------------------|---|-------------------|
| の 成 果 指 標 移 | 今後の見通し | 方 今 向 後 性 の | — | 今後の課題や方向性に関するコメント |
| | ニ ー 量 的 的 | | | |
| B | B | B | イ | |

<埋蔵文化財発掘調査事業>

◇執行状況及び成果等

1 市内遺跡発掘調査 (令和元年度事業経費：5,433,266円)

多摩市内に存在する遺跡を対象として、各種開発等が計画されている箇所の埋蔵文化財の有無や、埋蔵文化財の遺存状態等を把握するための試掘・確認調査を実施している。(国庫補助金対象事業、事業主協力事業、公共事業)

(1) 実施状況

| 年度 | 実施箇所(遺跡数) | 発掘面積 | 事業費 (補助事業のみ) | 補助率 |
|----|--|-------------------------|-----------------|-----------|
| 27 | 18箇所(7遺跡、2隣接地) (国庫補助事業16箇所、6遺跡、2隣接地)・(公共事業2箇所、2遺跡) | 348.32 m ² | 25,293,443円 | 国1/2、都1/4 |
| 28 | 22箇所(12遺跡、1隣接地) (国庫補助事業19箇所、11遺跡、1隣接地)・(事業主協力事業2箇所、2遺跡)・(公共事業1箇所、1遺跡) | 1,715.90 m ² | 7,264,368円 | 国1/2、都1/4 |
| 29 | 8箇所(4遺跡) (国庫補助事業7箇所、3遺跡)・(公共事業1箇所、1遺跡) | 380.22 m ² | 4,524,107円 | 国1/2、都1/4 |
| 30 | 11箇所(8遺跡) (国庫補助事業8箇所、7遺跡)・(事業主協力事業2箇所、2遺跡)・(公共事業1箇所、1遺跡) | 618.14 m ² | 3,810,656円 | 国1/2、都1/4 |
| 元 | 11箇所(6遺跡) (国庫補助事業9箇所、5遺跡)・(事業主協力事業2箇所、1遺跡)・(公共事業2箇所、1遺跡) | 408.21 m ² | 4,735,866円 | 国1/2、都1/4 |

(2) 令和元年度の実施内容

①国庫補助金対象事業関係調査

| No. | 遺跡名 (市遺跡No.) | 開発内容 | 場所 | 面積(約) | 実施日 | 備考 |
|-----|-----------------|------|---------|-------------------|--------------------|--|
| 1 | 和田・百草遺跡 (10) | 集合住宅 | 和田407-1 | 55 m ² | H31.4.11～ 12、15 | (試掘) 出土遺構：堅穴建物跡1軒・土坑1基・小穴1基、出土遺物：土師器片 |

| No. | 遺跡名 (市遺跡No.) | 開発内容 | 場所 | 面積 (約) | 実施日 | 備考 |
|-----|-----------------|-----------|--------------------|--------------------|-------------------|---|
| 2 | 多摩市No.218 遺跡 | 宅地造成 | 東寺方四号字 509-1 外 | 59 m ² | H31. 4. 15～ 17 | 出土遺構：土坑 18 基・小穴 2 基・性 格不明遺構 1 基 出土遺物：縄文土 器 3 点・土師器 2 点・近世土器 1 点・近代ガラス製 品 1 点 |
| 3 | 和田・百草遺跡 (10) | 宅地造成 | 和田四号 310-1 外 | 25 m ² | R1. 5. 13～ 14 | 出土遺構：住居跡 1 軒・ピット 1 基・ 不明遺構 3 基 出土遺物：縄文土 器 259 点・弥生後 期～古墳前期土 器 9 点・土師器 91 点・須恵器 1 点・ 石製品 1 点・鉄製 品 1 点・金属製品 1 点 |
| 4 | 和田・百草遺跡 (10) | 宅地造成 | 和田四号 310-1 外 | 80 m ² | R1. 6. 18～ 21 | 出土遺構：堅穴建 物跡 1 棟・土坑 2 基・ピット 2 基・ 性格不明遺構 1 基 出土遺物：縄文土 器 104 点・土師器 35 点・土製品 1 点・陶器 1 点・被 熱礫 5 点 |
| 5 | 和田・百草遺跡 (10) | 共同住宅 | 和田四号 358-1 | 9 m ² | R1. 8. 6 | 出土遺構：なし 出土遺物：なし |
| 6 | 向ノ岡遺跡 (27) | 宅地開発 | 連光寺一丁目 28 番 1 外 | 60 m ² | R1. 10. 9～ 10 | 出土遺構：なし 出土遺物：なし |
| 7 | 竜ヶ峰遺跡 (180) | 個人住宅 | 和田十三号 1186-1 | 20 m ² | R1. 12. 17 | 出土遺構：なし 出土遺物：なし |
| 8 | 和田・百草遺跡 (10) | 個人住宅 | 百草 1106-1 | 10 m ² | R2. 1. 24 | 出土遺構：なし 出土遺物：なし |
| 9 | 榎田山遺跡 (232) | 分譲住宅 | 連光寺 3-56-24 | 6 m ² | R2. 2. 20 | 出土遺構：なし 出土遺物：剥片石 器 1 点 |
| 合計 | | 5 遺跡 9 事業 | | 324 m ² | | |

2 事業主協力による試掘調査、本発掘調査等の実施内容（令和元年度事業経費：多摩市負担額0円）

(1) 大規模開発に伴う試掘・確認調査事業及び、試掘・確認調査の実施結果により、本発掘調査が必要となった場合には、多摩市が原因者となるものを除き、事業主、教育委員会、民間調査組織等で「三者協定」を締結し、教育委員会が発掘調査の指導等を行っている。

| No. | 遺跡名 (市遺跡No.) | 開発内容 | 場 所 | 面 積 | 実 施 日 | 備 考 |
|-----|-----------------|------------|-------------------|-----------------------|--------------------------|--|
| 1 | 和田・百草遺跡 (10) | 集合住宅 | 和田 407-1 | 20 m ² | H31. 4. 17 ～R1. 7. 31 | (本調査) 出土遺構：古墳時 代の堅穴建物跡・ 土坑 出土遺物：土師器 |
| 2 | 和田・百草遺跡 (10) | 宅地造成 | 和田 4 号 310-1 外 | 39. 21 m ² | R1. 10. 17～ R2. 2. 28 | (本調査) 出土遺構：古墳時 代以降の堅穴建物 跡・溝跡・土坑 出土遺物：土師 器・須恵器・土製 品 |
| 合計 | | 1 遺跡 2 事業地 | | 59. 21 m ² | | |

(2) 公共事業に伴う試掘調査・本発掘調査（令和元年度事業経費：多摩市負担額 697, 400 円）

| No. | 遺跡名 (市遺跡No.) | 開発内容 | 場 所 | 面 積 | 実 施 日 | 備 考 |
|-----|------------------|------------------------|-------------|-------------------|-----------|------------------------------|
| 1 | 多摩市No.179 遺 跡 | 市道 2-1 号線拡幅 歩道整備 | 和田 1184-5 外 | 15 m ² | R2. 1. 31 | (試掘調査) 出土遺構：なし 出土遺物：なし |
| 2 | (埋蔵文化財包 蔵地外) | 市道 2-3 号線拡幅 整備事業 | 和田 194-1 外 | 10 m ² | R2. 3. 17 | (試掘調査) 出土遺構：なし 出土遺物：なし |
| 合計 | | 1 遺跡 2 事業 | | 25 m ² | | |

(3) 土木工事等の届出に伴う発掘調査、試掘・確認調査、立会い調査

周知の埋蔵文化財包蔵地内で土木工事等を行う際に提出される届出に対応して、掘削深度が浅い場合等は工事中の立会い調査を実施している。

| 年 度 | 土木工事等の発掘届出・有無照会 書・開発事業事前協議等届出件数 | 試掘・確認調査等(国庫補助 事業等)実施件数/(件数)は 本発掘調査件数 | 工事中立会い調査 その他件数 |
|--------|------------------------------------|--|-------------------|
| 27 | 80 件 | 18 件(1 件) | 39 件 |
| 28 | 94 件 | 17 件(2 件) | 47 件 |
| 29 | 93 件 | 6 件(0 件) | 63 件 |
| 30 | 140 件 | 9 件(2 件) | 112 件 |
| 元 | 139 件 | 11 件(2 件) | 75 件 |

3 地域の特徴ある埋蔵文化財活用事業(令和元年度事業経費：5,004,214円)

現在、令和3年度を目途に、旧北貝取小学校跡地内に文化財を一元的に集約し、分類、収蔵、展示、調査、整理、見学、保存活用等の機能を備えた市民活動の拠点施設を整備する計画である。計画概要は、埋蔵文化財をはじめとした文化財資料の収蔵機能等を集約し、「文化財の拠点」的施設として整備する。そのため、当該施設への埋蔵文化財資料の移転に伴い、埋蔵文化財資料類の再分類やデータベース化等（ハード事業）を実施するとともに、埋蔵文化財資料を活用した展示会等（ソフト事業）を行った。

(1) 埋蔵文化財の再分類、再整理等(令和元年度事業経費：3,737,844円)

向ノ岡遺跡出土遺物（土器、石器、礫等：合計3,351点）の再分類・再整理、再収納等を委託し、出土遺物のデータベース（資料の電子データ）を作成した。

(2) 展示会、見学会、講座等

①「土の中のお宝展～多摩市の最近の発掘成果～」展（令和元年度事業経費：340,346円）

直近の発掘調査である向ノ岡遺跡を中心とした多摩市内で出土した様々な縄文土器やその他の遺物を中心に展示・紹介した。展示では、市内で出土した縄文土器をはじめ、古代の遺物を発掘調査別に展示。発掘成果を調査別に展示することで、土器や遺物の説明や特徴、多摩市という中でも集団性や時代差、地域性等が出現することなどを紹介した。さらに展示期間内の指定の土曜日に学芸員によるギャラリートークを実施した。

| テーマ | 会場 | 日時 | 来場者 |
|-------------------------|------------|----------------------------|------|
| 「土の中のお宝展～多摩市の最近の発掘成果～」展 | 関戸公民館ギャラリー | 8月6日（火）～8月29日（木） 【23日間】 | 997人 |

②「第五回 古代の器といけ花」展（令和元年度事業経費：186,444円）

多摩市内で出土した縄文土器や土師器を使用して、多摩市華道連盟による插花を実施。文化財施設である旧富澤家住宅において、多摩市から実際に出土した埋蔵文化財と、插花のコラボレーションを行った。文化財施設である旧富澤家住宅での展示を通じて、多摩市から実際に出土した埋蔵文化財と、多摩市華道連盟による插花の融合に親しんでもらうと共に、日本の伝統文化と歴史、文化を繋ぐものとしての展示を目的とした。

| 名称 | 日時 | 会場 | 来場者数(約) |
|-----------------|-----------------------------|--------|---------|
| 「第五回 古代の器といけ花」展 | 5月24日(金) ～5月26日(日) 【3日間】 | 旧富澤家住宅 | 548人 |

③「発掘資料出前展示、出前授業」（令和元年度事業経費：394,855円）

各小・中学校の教室・空きスペース等において、多摩市内や学区域周辺等から出土した原始・古代を主とした縄文土器、石器、土師器等の発掘資料(遺物)を短期間学校に出向き、出前展示、授業を行い、埋蔵文化財の発掘成果、地域や多摩市の歴史を知ってもらうと共に、埋蔵文化財の保護、普及・活用を図った。

| No. | 会場 | 日時 | 概要 | 来場者等 |
|-----|---------------------------|---|--|-------------------------------------|
| 1 | 多摩第二小学校 1F メモリアルホール | 【出前展示】 平成31年4月1日 (月) ～令和2年3月31日 (火) | 多摩第二小学校校舎建替えに伴う発掘調査で出土した遺物を新校舎内に展示することで、多摩第二小学校の児童や卒業生、保護者や教員、地域の方々に、小学校周辺の歴史を身近に感じてもらうとともに、埋蔵文化財の保護、普及・活用を図るため、出前展示事業の一環として、学校内での展示を行う。 | 合計 529人 |
| 2 | 東寺方小学校1F 第二音楽室 | 【出張授業】 4月17日(水) 10:40～11:25 | 2年生を対象に、第二音楽室で授業後、展示物自由見学 | 2年生：64人 |
| | | 【出張授業】 4月18日(木) 9:35～12:15 | 5年生・特別支援学級を対象に各教室で授業後、展示物自由見学 | (5年生：36人) (特別支援学級：27人) 合計 63人 |
| | | 【出張授業】 4月19日(金) 10:40～14:20 | 5・6年生を対象に、第二音楽室で授業後、展示物自由見学 | (5年生：37人) (6年生：68人) 合計 105人 |
| | | | | |
| 3 | 連光寺小学校3F 6年学習室 | 【出張授業】 4月25日(木) | 6年生を対象に学習室で授業後、展示物の解説及び自由見学を実施。 | 6年生：65人 |
| 4 | 和田中学校2F 校長室前 廊下スペース | 【出前展示】 令和2年1月10日(金)～20日(月) | 和田中学校付近にある和田・百草遺跡の出土品を校内に展示し、生徒や卒業生、保護者や教員、地域の方々に、学校周辺の歴史を身近に感じてもらう。 | 生徒数：397人 |
| | | | | 総計：1,223人 |

事業カルテ (元年度決算)

教育振興課

10-05-01-640

古民家管理運営事業

◇事業の位置づけ等

| | | | | | | |
|---------------------------|---|-----------------------|------------------------|---|---|---|
| 事務の種類 | 自治事務 | 基礎となる法令 | 文化財保護法、多摩市文化財保護条例 | | | |
| 第五次総合計画 基本計画体系 | 目指すまちの姿 | みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち | | | | |
| | 政策 | C2 | 豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり | | | |
| | 施策 | 3 | 文化の継承と創造 | | | |
| | 関連する施策 | - | - | - | - | - |
| 関連する個別計画 | 第二次多摩市教育振興プラン | | | | | |
| 関連する報告書など | 多摩市の教育 | | | | | |
| 事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など | 江戸時代の建物である旧加藤家・旧有山家は昭和63年、旧富澤家は平成5年に復元、開館。日常管理業務に係る業務委託料の大幅な見直しを行った。事業内容は、児童・生徒の体験学習、総合的な学習や市民の郷土意識の高揚、生涯学習に有効活用できる事業を推進している。 | | | | | |

◇令和元年度の事業の実施内容

| | | |
|--------------------|---|----------|
| | 事業開始の時期 | 平成13年度以前 |
| 事業の目的、 令和元年度の目標 | <p>広く市民に伝統文化、地域の歴史等に触れる機会を提供し、市民の郷土意識の高揚、「ふるさと多摩」への愛着の念を育み、地域の歴史や伝統文化を次代へ継承することを目的としている。</p> <p>令和元年度は、古民家の特徴を活かした学校等に対する見学説明、体験学習、資料貸出対応、伝統文化関連事業、展示会等を実施する。それにより、近隣自治体にはない古民家体験、団体活動等のできる特色ある施設として、施設の普及周知活動をし、見学者・利用者の増加を図る。また、旧富澤家への案内サインを再整備し、市民へ場所を周知し利用の促進を図る。さらに、旧富澤家、バルテノン多摩、東京都埋蔵文化財センター、多摩美術大学と連携して実施している多摩センター文化施設スタンプラリーを継続実施する。</p> | |
| 予算の執行方法 | <p>展示会関係実施経費(消耗品費、印刷製本費等)、調査、案内板設置費、整理等関係経費(消耗品費、印刷製本費等)、古民家等施設維持管理経費(役員費、委託料等)等の支出。</p> | |
| 事業の成果 | <p>見学説明・資料貸出対応、展示会等の実施を通じて、文化財や昔の生活文化に対する理解を深め、市民の郷土意識の高揚と愛着の念を育むことに努めた。また、古民家の立地を活用した事業等を実施し、特色ある古民家として周知普及することで、見学者・利用者の増加に向けた取組みを行った。</p> | |

◇事業にかかる費用

| 区 分 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | |
|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 決算額(単位:千円) | 13,929 千円 | 11,450 千円 | 11,815 千円 | 12,080 千円 | 12,697 千円 | |
| 事業にかかる実コスト | 17,675 千円 | 15,151 千円 | 15,340 千円 | 15,440 千円 | 16,130 千円 | |
| 内 訳 | 直接経費 | | | | | |
| | 国庫支出金 | 19 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| | 都支出金 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 187 千円 | 0 千円 |
| | 地方債 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| | その他特定財源 | 120 千円 | 125 千円 | 158 千円 | 115 千円 | 79 千円 |
| | 一般財源 | 13,790 千円 | 11,325 千円 | 11,657 千円 | 11,778 千円 | 12,618 千円 |
| | 間接経費 | | | | | |
| 職員人件費 | 3,746 千円 | 3,701 千円 | 3,525 千円 | 3,360 千円 | 3,433 千円 | |
| 《従事人員数》 | 0.40 人 | 0.40 人 | 0.40 人 | 0.40 人 | 0.40 人 | |
| その他の人件費 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | |

◇成果指標

| 指標の種類 | 指標について | | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|------------------|---------------|----|---------|---------|---------|
| 活動指標 (アウトプット) | 施設公開、展示会等事業回数 | 目標 | 6回 | 6回 | 6回 |
| | | 結果 | 7回 | 7回 | — |
| 成果指標 (アウトカム) | 古民家施設来館者数 | 目標 | 45,000人 | 45,000人 | 45,000人 |
| | | 結果 | 40,828人 | 36,225人 | — |

特記事項

—

◇自己点検

| | | | | |
|--------------------------------------|------------------|------------------|----------------------------|-------------------|
| の 成 果 指 標 の 推 移 | 今後の見通し | | 方 今 向 後 性 の | 今後の課題や方向性に関するコメント |
| | ニ ー 量 的 | 財 一 源 般 | | |
| B | B | B | イ | — |

<古民家管理運営事業>

◇執行状況及び成果等

1 古民家、旧富澤家実施事業概要

(1) 古民家事業(一本杉公園内) (令和元年度事業経費：3,984,021円)

| | 期 間 | 事 業 名 | 参加者数 | 会 場 |
|---|-------------|----------|------|------|
| 1 | R1.12.26(木) | しめ縄作り体験会 | 15人 | 旧加藤家 |

(2) 一本杉公園・炭焼き窯貸出事業(令和元年度事業経費：0円)

| | 炭焼き(燃焼)期間 | 実 施 団 体 名 | 参加者数 |
|---|---------------------|---------------|------|
| 1 | R1.11.9(土)～11.27(水) | 一本杉炭やき倶楽部 | 約30人 |
| 2 | R2.1.18(土)～2.5(水) | 炭やき体験教室 | 約30人 |
| 3 | R2.3.7(土)～3.24(火) | 多摩の自然とまちづくりの会 | 約30人 |

(3) 旧富澤家事業(多摩中央公園内) (令和元年度事業経費：8,712,733円)

| | 期 間 | 事 業 名 | 参加者数 | 会 場 |
|---|----------------------|------------------------------------|--------|------|
| 1 | H31.4.13(土)～5.12(日) | 旧富澤家襖絵特別展示・収蔵品展示 | 4,003人 | 旧富澤家 |
| 2 | R1.8.21(水) | 夏休み子ども体験会～ぞうり作り～ | 14人 | 旧富澤家 |
| 3 | R1.9.13(金)～9.16(月・祝) | お月見展示 | 292人 | 旧富澤家 |
| 4 | R1.9.14(土) | 「お団子作り」と「図書館おはなしの広場」 ※図書館との共催事業 | 13人 | 旧富澤家 |

(4) 入館者数及び使用件数

| 施設名称 年度 | 古民家・旧加藤家 | | 旧富澤家 | |
|------------|----------|--------|---------|--------|
| | 入館者数 | 団体使用件数 | 入館者数 | 団体使用件数 |
| 27 | 13,146人 | 59件 | 31,250人 | 11件 |
| 28 | 11,954人 | 61件 | 38,991人 | 17件 |
| 29 | 10,282人 | 59件 | 33,983人 | 10件 |
| 30 | 10,953人 | 53件 | 29,875人 | 13件 |
| 元 | 10,987人 | 50件 | 25,238人 | 6件 |

2 事業経費関係

(円)

| 年度 | 経費合計 | 経費内訳 | | |
|----|------------|-----------|---------|--------------|
| | | 報償費・需用費 | 役員費 | 委託費、使用料・賃借料等 |
| 27 | 13,929,394 | 738,799 | 503,862 | 12,686,733 |
| 28 | 11,450,155 | 721,947 | 533,338 | 10,194,870 |
| 29 | 11,815,434 | 961,597 | 534,269 | 10,319,568 |
| 30 | 12,080,297 | 468,990 | 535,052 | 11,076,255 |
| 元 | 12,696,754 | 1,268,356 | 521,767 | 10,906,631 |

事業カルテ (元年度決算)

教育振興課

10-05-01-641

旧多摩聖蹟記念館管理運営事業

◇事業の位置づけ等

| | | | | | | |
|---------------------------|--|-----------------------|------------------------|---|---|---|
| 事務の種類 | 自治事務 | 基礎となる法令 | 文化財保護法、多摩市文化財保護条例 | | | |
| 第五次総合計画 基本計画体系 | 目指すまちの姿 | みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち | | | | |
| | 政策 | C2 | 豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり | | | |
| | 施策 | 3 | 文化の継承と創造 | | | |
| | 関連する施策 | - | - | - | - | - |
| 関連する個別計画 | 第二次多摩市教育振興プラン | | | | | |
| 関連する報告書など | 多摩市の教育 | | | | | |
| 事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など | 昭和61年度に財団法人から多摩市に建物が寄贈され、市指定文化財となり、改修工事を経て、市教育委員会が管理運営を行うようになった。経費的には日常管理業務に係る業務委託料の大幅な見直し、削減、さらに調査等に係る臨時職員賃金の削減を行った。また、平成21年度からは、毎年、来館者の少ない日を臨時休館日として増やしていくことで、開館日を見直し経費削減に努めた。 | | | | | |

◇令和元年度の事業の実施内容

| | 事業開始の時期 | 平成13年度以前 |
|--------------------|---|----------|
| 事業の目的、 令和元年度の目標 | 多摩市を代表する市指定文化財として保護・保存するとともに、展示・見学施設、貸ギャラリーとして活用することで、多摩の歴史、文化に触れ、多摩の歴史等を知ること、ふるさと多摩への愛着の念を育むことを目的とする。 多摩市の歴史と文化を象徴する「市指定有形文化財」、「東京都選定特に景観上重要な歴史的建造物等」として、その保護保存を図る。また、展示会・自然観察会等を通して、館をより多くの市民等に知ってもらうため一層の周知・普及活動をし、市のホームページ・施設予約システム等によりギャラリー利用のPRを行い活用を図る。具体的には、特別展、年数回の常設展の実施、年6回の広報誌の発行、収蔵資料の調査や年11回の植物友の会との共催事業である自然観察会、年2回の都立桜ヶ丘公園との共催事業である音楽の集い等の事業展開を行う。 | |
| 予算の執行方法 | 館の周知事業、資料調査・整理、市指定文化財として維持管理等のため、嘱託職員(専門員)報酬及び交通費、講座等謝礼、調査・整理等関係経費(消耗品、印刷製本費)、施設維持管理経費(光熱水費、修繕料、役務費、保険料、委託料)等を支出する。なお、平成25年1月からは利用者の使用料の見直しを行い、利用者負担の一層の適正化を図っている。 | |
| 事業の成果 | 聖蹟桜ヶ丘の地名の由来にもなっており、「東京都の特に景観上重要な歴史的建造物等」にも選定されている旧多摩聖蹟記念館の常設・特別展示、自然観察会等や(公財)東京都公園協会との共催事業である音楽の集い等の事業を通じて館のPRや、文化財並びに観光資源として、市民の郷土意識の高揚と市への愛着の念を育むことができ、来場者が大幅に増加した。 | |

◇事業にかかる費用

| 区分 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | |
|------------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 決算額(単位:千円) | 9,707 | 10,313 | 12,608 | 8,053 | 10,750 | |
| 事業にかかる実コスト | 13,011 | 13,654 | 15,837 | 11,311 | 13,988 | |
| 内 訳 | 直接経費 | | | | | |
| | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 都支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他特定財源 | 325 | 365 | 422 | 310 | 241 |
| | 一般財源 | 9,382 | 9,948 | 12,186 | 7,743 | 10,509 |
| | 間接経費 | | | | | |
| 職員人件費 | 1,873 | 1,851 | 1,763 | 1,680 | 1,716 | |
| 《従事人員数》 | 0.20 | 0.20 | 0.20 | 0.20 | 0.20 | |
| その他の人件費 | 1,431 | 1,490 | 1,466 | 1,578 | 1,522 | |

◇成果指標

| 指標の種類 | 指標について | | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|------------------|---------------------|----|---------|---------|---------|
| 活動指標 (アウトプット) | 施設公開・見学、展示会・講座等事業回数 | 目標 | 16回 | 16回 | 16回 |
| | | 結果 | 18回 | 17回 | — |
| 成果指標 (アウトカム) | 事業・施設来場者数 | 目標 | 18,500人 | 22,500人 | 22,500人 |
| | | 結果 | 22,110人 | 32,354人 | — |

特記事項

—

◇自己点検

| 成果 の 推移 指標 | 今後の見通し | | 方 向 性 の | 今後の課題や方向性に関するコメント |
|---------------------|--------|-------------|------------------|-------------------|
| | 量 的 | 財 源 的 | | |
| B | B | B | イ | — |

<旧多摩聖蹟記念館管理運営事業>

◇執行状況及び成果等

1 入館者数及び管理経費

(円)

| 年度 | 入館者数 | 開館日 | 管理経費合計 | 経費内訳 | | |
|----|---------|------|-----------|---------------|---------|------------------------|
| | | | | 修繕料・ 工事請負費 | 役務費 | 委託料 (総合業務委 託他5件) |
| 27 | 15,979人 | 241日 | 5,792,690 | 118,800 | 87,785 | 5,586,105 |
| 28 | 18,514人 | 237日 | 6,067,912 | 31,320 | 91,840 | 5,944,752 |
| 29 | 18,369人 | 237日 | 8,240,752 | 2,404,404 | 102,045 | 5,734,303 |
| 30 | 22,110人 | 238日 | 6,470,441 | 99,360 | 90,298 | 6,280,783 |
| 元 | 32,354人 | 223日 | 6,399,876 | 66,000 | 107,852 | 6,226,024 |

2 ギャラリー使用状況(施設利用) (令和元年度事業経費：0円)

| 年度 | 内容名 | 実施日(開催日数) | 入館者数 |
|----|---------------------------------|-----------------------------------|--------|
| 27 | 絵画グループ「人人人」桜季展 | H27.4.4～4.19(12日間) | 2,016人 |
| 28 | 絵画グループ「人人人」桜季展 | H28.4.2～4.10(7日間) | 3,077人 |
| | 株式会社デジスコドットコム でじすこや「とりのとりこ」展 | H29.2.23～2.26(4日間) | 470人 |
| | 絵画グループ「人人人」桜季展 | H29.3.31(1日間) (※会期は3.31～4.9まで) | 83人 |
| 29 | 絵画グループ「人人人」桜季展 | H29.4.1～4.9(7日間) | 1,864人 |
| | | H30.3.30～31(2日間) (※会期は3.30～4.8まで) | 809人 |
| 30 | 絵画グループ「人人人」桜季展 | H31.4.1～8(6日間) (※会期は3.30～4.8まで) | 1,628人 |
| 元 | — | — | — |

3 教育委員会主催事業(館内一常設展示を除く) (令和元年度事業経費：136,924円)

| 年度 | 事業名 | 実施日(開催日数) | 入館者数 |
|----|--|-----------------------|--------|
| 27 | 東京文化財ウィーク 2015 企画事業・特別展 「戦時下の多摩聖蹟記念館と多摩市」 | H27.10.24～12.13(37日間) | 2,841人 |
| 28 | 東京文化財ウィーク 2016 企画事業・特別展 「「聖蹟」を語るモノたち—旧多摩聖蹟記念館所蔵の皇室ゆかりの品々—」 | H28.10.22～12.11(37日間) | 4,195人 |
| 29 | 東京文化財ウィーク 2017 企画事業・特別展 「最後の志士」のライフワーク—旧多摩聖蹟記念館生みの親・田中光顕による遺墨収集—」 | H29.10.21～12.24(37日間) | 4,160人 |

| | | | |
|----|--|--------------------------------|----------|
| 29 | 「明治 150 年」関連企画 「『聖蹟』探訪 - 旧多摩聖蹟記念館と関連史 跡をめぐる - 」 | H29. 12. 2(1 日間) | 22 人 |
| 30 | 東京文化財ウィーク 2018 企画事業・特別展 「明治 150 年 振り返れば明治～多摩の『聖 蹟』検証～」 | H30. 10. 20～H31. 4. 13(113 日間) | 15,724 人 |
| 元 | 東京文化財ウィーク 2019 企画事業・特別展 特別展「生誕 130 年没後 60 年記念 関根要 太郎展」 | R1. 10. 12～12. 22(44 日間) | 9,236 人 |

4 教育委員会主催事業(屋外) (令和元年度事業経費：55,437 円)

| 年度 | 事業名 | 実施日 | 参加者数 |
|----|---|------------------------|---------|
| 27 | 子ども昆虫観察会 | H27. 8. 22 | 14 人 |
| 28 | 子ども昆虫観察会 | H28. 8. 28 | 17 人 |
| 29 | 子ども昆虫観察会 | H29. 8. 5 | 32 人 |
| 30 | 子ども昆虫観察会 | H30. 8. 5 | 31 人 |
| | 夏休み特別ギャラリー展示「とっても 面白い昆虫の世界～虫たちの暮らし をのぞいてみよう～」 | H30. 8. 4～26(15 日間) | 686 人 |
| 元 | 子ども昆虫観察会 | R1. 7. 27 | 29 人 |
| | 夏休み特別ギャラリー展示「あおぞら 昆虫園」 | R1. 7. 27～9. 26(40 日間) | 2,363 人 |

5 教育委員会と「多摩市植物友の会」の共催事業(屋外) (令和元年度事業経費：0 円)

| 年度 | 27 | 28 | 29 | 30 | 元 |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 事業名 | 自然観察会 | 自然観察会 | 自然観察会 | 自然観察会 | 自然観察会 |
| 実施回数 | 9 回 | 9 回 | 11 回 | 9 回 | 10 回 |
| 参加者数 (延べ) | 613 人 | 629 人 | 768 人 | 577 人 | 657 人 |

※ 8 月を除く第 1 火曜日(休館日の場合は第 2 火曜日)の午前中に記念館のある都立桜ヶ丘公園周辺の植物の観察を行っている。

6 教育委員会と公益財団法人東京都公園協会の共催事業（屋外）

教育委員会と音楽団体との共催事業（館内）（令和元年度事業経費：163,146円）

「音楽の集い」は、平成27年度より東京都公園協会との共催で、記念館の正面テラスにてコンサートを実施している。また、「クラシックコンサート」は音楽団体との共催で、記念館館内にてコンサートを実施している。

| 年度 | 事業名 | 実施日 | 参加者数 |
|----|--|------------|------|
| 27 | 「都立桜ヶ丘公園 旧多摩聖蹟記念館 音楽の集い」 | H27. 4. 12 | 303人 |
| 28 | 「都立桜ヶ丘公園 旧多摩聖蹟記念館 音楽の集い」 | H28. 4. 10 | 675人 |
| 29 | 「都立桜ヶ丘公園 旧多摩聖蹟記念館 音楽の集い」 | H29. 4. 9 | 282人 |
| | 「都立桜ヶ丘公園 旧多摩聖蹟記念館 音楽の集い」 | H29. 10. 8 | 142人 |
| 30 | 「都立桜ヶ丘公園 旧多摩聖蹟記念館 音楽の集い」 | H30. 4. 1 | 761人 |
| | 「クラシックコンサート」 | H30. 5. 12 | 220人 |
| | 「都立桜ヶ丘公園 旧多摩聖蹟記念館 音楽の集い」 | H30. 6. 23 | 86人 |
| | 「クラシックコンサート～古典派音楽の世界～」 | H30. 9. 22 | 131人 |
| | 「旧多摩聖蹟記念館明治150年記念コンサート 慶應から現代への贈りもの～クラシックギターの響き～」 | H30. 11. 3 | 289人 |
| 元 | 「都立桜ヶ丘公園 旧多摩聖蹟記念館 音楽の集い」 | H31. 4. 14 | 239人 |
| | 「クラシックコンサート～ヴァイオリンとチェロによる 「和」の響き～」 | R1. 5. 18 | 171人 |
| | 「都立桜ヶ丘公園 旧多摩聖蹟記念館 音楽の集い」 | R1. 10. 27 | 194人 |
| | 「クラシックコンサート～弦楽四重奏によるロシアの調べ～」 | R1. 11. 9 | 296人 |

7 その他の実施事業（令和元年度事業経費：3,994,613円）

(1) 常設展示

ア 収蔵資料の「常設展示」－特別展・企画展等開催時期を除き、収蔵資料の紹介展示を3回実施した。

イ 「植物写真展示」－多摩市植物友の会の協力を得て、季節に関わる植物写真展示を1箇月ごとに実施している。

(2) 「雑木林」の発行－隔月の偶数月に実行事や収蔵資料紹介、自然観察会の記録などを掲載する広報誌「雑木林」を発行している。令和元年度はvol.189～194を発行（各1,100部印刷）。

事業カルテ (元年度決算)

文化・市民協働課【文化・生涯学習推進課】

10-05-01-642 生涯学習推進事業

◇事業の位置づけ等

| | | | | | |
|---------------------------|---|-----------------------|-------------------|---|---|
| 事務の種類 | 自治事務 | 基礎となる法令 | 教育基本法 | | |
| 第五次総合計画 基本計画体系 | 目指すまちの姿 | みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち | | | |
| | 政策 | C1 | 地域で支え合い、暮らせるまちづくり | | |
| | 施策 | 2 | 市民主体による地域づくりの推進 | | |
| | 関連する施策 | — | — | — | — |
| 関連する個別計画 | 第3次多摩市生涯学習推進計画 | | | | |
| 関連する報告書など | — | | | | |
| 事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など | 第3次多摩市生涯学習推進計画(平成23年度～令和2年度)の計画期間が終了することに伴い、令和3年度から10年後の社会変化を見据えた第4次多摩市生涯学習推進計画を策定する。第4次計画の策定にあたり、学識経験者や市民委員等で構成する第4次多摩市生涯学習推進計画策定委員会を設置した。 | | | | |

◇令和元年度の事業の実施内容

事業開始の時期 平成13年度以前

| | |
|--------------------|--|
| 事業の目的、 令和元年度の目標 | 【事業の目的】 令和3年度から運用を開始する第4次多摩市生涯学習推進計画を策定するため、現行計画の総括・市の現状・国等の動向などを勘案し、多摩市の実情に即した計画策定をはかる。 【令和元年度の目標】 計画骨子案の決定 |
| 予算の執行方法 | 計画策定支援業務委託、策定委員会委員謝礼、市民ワークショップの消耗品等 |
| 事業の成果 | 学識経験者や市民委員等で構成する第4次多摩市生涯学習推進計画策定委員会を令和元年6月に要綱設置し、令和元年8月から委員会活動を開始した。同月に生涯学習推進本部で計画方針を決定し、市民アンケートやワークショップを実施。策定委員会、生涯学習推進本部及び専門委員会にて基本理念や方向性等について検討した。令和2年3月に推進本部で骨子案を決定した。 |

◇事業にかかる費用

| 区 分 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | | |
|------------|--------|---------|--------|--------|---------|-------|---------|
| 決算額(単位:千円) | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 3,584千円 | | |
| 事業にかかる実コスト | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 8,733千円 | | |
| 内 訳 | 直接経費 | 国庫支出金 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | |
| | | 都支出金 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | |
| | | 地方債 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | |
| | | その他特定財源 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | |
| | | 一般財源 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 3,584千円 |
| | 間接経費 | 職員人件費 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 5,149千円 |
| | | 《従事人員数》 | 0.00人 | 0.00人 | 0.00人 | 0.00人 | 0.60人 |
| その他の人件費 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | | |

◇成果指標

| 指標の種類 | 指標について | | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|------------------|--------------------------|----|--------|---------|-------|
| 活動指標 (アウトプット) | 第4次多摩市生涯学習推進計画策定委員会の開催回数 | 目標 | — | 6回 | 3回 |
| | | 結果 | — | 6回 | — |
| 成果指標 (アウトカム) | 第4次多摩市生涯学習推進計画の策定 | 目標 | — | 計画骨子案決定 | 計画策定 |
| | | 結果 | — | 計画骨子案決定 | — |

特記事項

—

◇自己点検

| の 成 果 推 移 指 標 | 今後の見通し | | 方 今 向 後 性 の イ | 今後の課題や方向性に関するコメント |
|---------------------------------|-------------|------------------|---------------------------------|---|
| | 量 的 的 | 財 一 源 般 | | |
| N | N | N | イ | 新型コロナウイルス感染症の状況をふまえ、計画策定スケジュールの見直しや会議開催手法等を弾力的に運用するとともに、ポスト・コロナ社会を見据えた施策を計画に反映する。 |

<生涯学習推進事業>

◇執行状況及び成果等

第3次多摩市生涯学習推進計画(平成23年度～令和2年度)の計画期間が終了することに伴い、令和3年度から10年間の計画期間とする第4次多摩市生涯学習推進計画を策定する。

令和元年度は、学識経験者や市民委員等で構成する第4次多摩市生涯学習推進計画策定委員会を要綱設置し、委員会の活動に加えて、広く市民の意見を伺うため、市民ワークショップを開催した。また、国・東京都・その他区市町村などの生涯学習施策の動向及び社会変化などの広い知見をもつ事業者にコンサルティングを依頼し、円滑な策定業務を行う。

そして策定委員会及び生涯学習推進本部専門委員会での協議を経て、生涯学習推進本部で骨子案を決定した。

【第4次多摩市生涯学習推進計画策定委員会 開催概要】

| 回次 | 日時 | 内容 |
|-----|----------------------------------|--|
| 第1回 | 令和元年8月23日(金) 15:00～17:00 | 委嘱状交付、委員長・副委員長選出 学識者(委員長)講義「生涯学習推進計画について」 |
| 第2回 | 令和元年10月24日 (木) 17:00～19:00 | 生涯学習に関するアンケート実施報告 方向性について |
| 第3回 | 令和元年11月29日 (金) 15:00～17:00 | 市民ワークショップ実施報告 方向性について |
| 第4回 | 令和2年1月30日(木) 15:00～17:00 | 方向性(基本理念と目指す方向)について報告 骨子案について |
| 第5回 | 令和2年2月27日(木) 17:30～19:30 | 生涯学習に関するアンケートの世代別結果報告 骨子案について |
| 第6回 | 令和2年3月26日(木) 17:30～19:30 | 素案について |

【生涯学習推進計画検討市民ワークショップ 実施概要】

| 日時 | タイトル | 参加人数 |
|------------------------------|---------------------|------|
| 令和元年11月17日(日) 14:00～17:00 | 多摩市の生涯学習を考えるワークショップ | 13人 |

【執行状況】

| 内容 | 金額 |
|----------------|------------|
| 策定委員会 委員謝礼 | 487,400円 |
| 市民ワークショップ 消耗品費 | 9,101円 |
| 市民ワークショップ 賄費 | 7,400円 |
| 計画策定支援業務委託 | 3,080,000円 |
| 計 | 3,583,901円 |